

図書館高校生通信

令和6年(2024年)

5月発行

高校生が同世代に

シリーズもの編

おすすめする本

昨年度、中央図書館がブックトークを実施した高校1年生の皆さんに、同世代へのおすすめ本アンケートに協力していただきました。シリーズものを一部コメントとともにご紹介します。表紙は1巻めです。



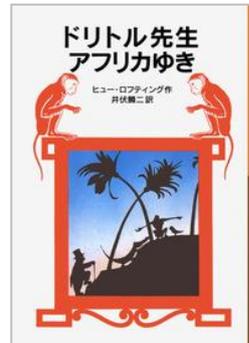
「図書館戦争」シリーズ
全6冊
有川 浩/著
メディアワークス
アスキー・メディアワークス
2006年～2008年
◇とにかくおもしろい！



「守り人」シリーズ
全13冊
上橋 菜穂子/著
偕成社
1996年～2018年
◇キャラクターがとにかく個性的。アジアっぽいファンタジーものが好きな人におすすめ。



「スカイ・クロラ」シリーズ
全6冊
森 博嗣/著
中央公論新社
2002年～2008年
◇戦闘シーンのテンポが良くてももしろい。



「ドリトル先生物語」シリーズ
全13冊
ヒュー・ロフティング/作
井伏 鱒二/訳
岩波書店
2000年
◇動物たちが起こすハプニングや先生の行動がすごく面白くてオススメです。



「紙の魔術師」シリーズ
全3冊
チャーリー・N・ホームバーグ/著
原島 文世/訳
早川書房
2017年～2018年
◇読んでいてワクワクする本。何回でも読みたくなる！



「都会のトム&ソーヤ」
25冊(続刊中)
はやみね かおる/著
講談社
2003年～
◇頭良くなります。

鈴木三重吉と「赤い鳥」の世界

広島市出身の鈴木三重吉は、愛娘すずへの思いから子どもたちに質の高い童話や童謡を届けるため、大正7年（1918年）に児童雑誌「赤い鳥」を主宰、創刊しました。

新美南吉の「ごんぎつね」や芥川龍之介の「蜘蛛の糸」などが発表されたこの雑誌では三重吉自らも筆をとり、自身の創作童話や海外作品を翻訳して掲載するなど、多くの童話を子どもたちに届けました。

広島市立図書館製作のHP「鈴木三重吉と「赤い鳥」の世界」では「三重吉作品紹介」や「表紙画ギャラリー」など三重吉と「赤い鳥」に関する様々な情報を見ることができます。

また、中央図書館では、令和6年3月、令和の時代を生きる高校生の感性に彩られた新しい童話集『鈴木三重吉童話集』を発行しました。三重吉の作品を若い世代にもっと触れてほしいとの思いから、三重吉が手がけた13作品を選び、読みやすいよう旧仮名づかいの文章を現代表記に改めました。そして、図書館の思いに賛同してくださった広島市立基町高等学校普通科創造表現コースの12名の高校生に各作品の扉絵や表紙をデザインしていただきました。こちらHPに掲載していますのでぜひご覧ください。



【WEB de 読もう】

【新刊案内】

中央図書館自由閲覧室 B **高校生のための職業ハッケン!!コーナー**の新刊を紹介します。このコーナーには、職業に関する本約600冊があり、「心構え」「スキル」「体験談」「職業ガイド」の4テーマに分けて並べています。



◆体験談

『僕とアンモナイトの1億年冒険記』

相場 大佑/著 イースト・プレス
2023年

◆体験談

『彼女たちの山』

柏 澄子/著 山と溪谷社 2023年

広島市立中央図書館

〒730-0011 広島市中区基町3番1号

TEL 082-222-5542 FAX 082-222-5545

URL <https://www.library.city.hiroshima.jp/>

開館時間 火～金…9:00～19:00

土・日・祝…9:00～17:00

休館日 毎週月曜日、休日の翌日ほか（詳しくはホームページでご確認ください）

【図書館HP】

